

みおも 6/15

No. 722 JUN. 2002

第9回坪内逍遙大賞受賞者

女優 水谷八重子



【授賞式及び記念事業】

とき ◎ 7月5日(金)

ところ

◎ 文化会館

18:00 開場
18:30～18:45 授賞式
18:45～20:15 記念事業
スピーチ/「日本女優物語」
朗読/泉鏡花『義血侠血』(「滝の白糸」の原作)

入場料

◎ 無料(要整理券)

整理券配布場所

◎ 文化の森、文化会館、中央公民館、各連絡所

プロフィール

水谷八重子(本名 松野好重)さんは、1939年東京で生まれました。父は歌舞伎役者の14代目守田勘弥、母は新派の女優の初代水谷八重子。

1955年に、女優として、またジャズ歌手として、水谷良重の芸名でデビューするや、またたくうちにスターダムにかけあがります。映画「青い山脈」「座頭市物語」「悪名」などのヒットをはじめ、「花の吉原百人斬り」では、NHK最優秀助演女優賞を受賞。また、テレビや舞台にも数多く出演し、中でも新派の舞台である「佃の渡し」「深川不動」「滝の白糸」などは、彼女の代表作と目されるほど高い評価を受けました。1995年に、亡き母八重子の跡を継ぎ2代目八重子を襲名。名実ともに新派の大黒柱としての活躍を続けています。

水谷八重子さんの才能は芸のみならず文筆にもおよんでいます。『あしあと』『拝啓水谷八重子様』の著作をはじめ、『暮らしの手帖』に連載のエッセイが、「2000年ベストエッセイ」に選ばれるなど、その多才ぶりには目を見張らせるものがあります。さらに瀬戸内寂聴訳『源氏物語』や、泉鏡花作「義血侠血」のCDを発売することで朗読の世界においても新境地を開拓しました。

(主な受賞歴)

1973年文化庁芸術選奨文部大臣賞、1978年菊田一男賞、2001年紫綬褒章、2001年芸術祭優秀賞

文化の森 28-1110